

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

小学1・2年におすすめ

『きこりとおおかみ フランス民話』

山口智子／再話 堀内誠一／画 福音館書店（約7分）



森のはずれに住むきこりとおおかみさんがスープを作っていると、オオカミがやってくる。熱々のスープをぶっかけて二人は難を逃れるが、1年後、きこりは仲間を引き連れてそのオオカミに、森で出会ってしまう。きこりとオオカミのスリングで愉快的な知くらべの話と臨場感のあるダイナミックな絵が、幅広い学年の読み聞かせに向く。

2014-2015
冬号



小学3・4年におすすめ

『ゆうかなアイリーン』

ウィリアム・スタイグ／作 おがわえつこ／訳
セーラー出版（約6分）

アイリーンは風邪をひいたお母さんに代わって、出来上がったばかりのドレスを、お屋敷に届けに行く。吹雪の中、風にドレスを飛ばされ、足をくじき、道に迷い、日が暮れ、雪にうずまり……。悪戦苦闘のアイリーンを誰もが応援したくなる絵本。扉の絵からお話が始まっているので、読み聞かせの時には、この場面もゆっくり見せよう。



学校などでの読み聞かせのポイント⑩

子どもたちを前にしたからといって、ことさら声をはりあげたり、声色を使ったりする必要はありません。それぞれの物語全体の流れをつかんで、その流れに乗って読むことが大切です。自分で物語を語る気持ちで読みましょう。



小学5・6年におすすめ

『富士山に のぼる』

石川直樹／著 教育画劇（約9分）



冬の富士山にひとり著者は、雪を踏みしめながら登っていく。日暮れになるとテントをはり、食事をとり、寝袋で一夜を過ごす。翌朝、荒れ狂う風の中、頂上を目指す。富士山の雄大な自然や厳しい登山の様子を写真でとらえた絵本。富士山に「のぼれば、かならず、新しい世界にであうことができる」。著者のメッセージが胸をうつ。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2014.12発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索